

運輸安全マネジメントに関する取り組み

□令和6年度の取り組み

○令和6年度 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 輸送の安全の確保が事業経営の根幹であり、最優先します。
- (2) 安全輸送に関する関係法令を遵守し、全従業員に徹底します。
- (3) P D C Aサイクルを継続し、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。

○令和6年度 of 取組結果

- (1) 輸送の安全に関する目標と達成状況
 - 「重大事故 0 件」 ※自動車事故報告規則第2条に規定する事故 … 達成
 - 「有責事故件数 10%削減 同一原因の事故再発の根絶」 … 達成
- (2) 事故の概要
 - 重大事故 0 件、軽微事故 39 件
 - <軽微事故内訳>
 - 人身事故 0 件、物損事故 39 件
 - 有責事故 39 件、他責事故 9 件

○輸送の安全のための措置と取組結果

- (1) 関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守するために、運行会議を 11 回開催しました。社長、安全統括管理者および役員、運行管理次長、営業所副所長、整備管理者による各種法令および事故再発防止策、ヒヤリハット、車両整備状況の共有を図りました。
- (2) 年末年始輸送の安全総点検期間に社長および安全統括管理者等による営業所巡視を実施しました。
- (3) 輸送の安全に関する教育および研修を実施しました。
 - ①乗務員年間指導教育計画に基づき、ドライブレコーダー映像を活用した安全運転研修を実施しました。
 - ②事故や災害を想定した訓練を実施しました。
 - ③人命救助に向けた救急救命（A E D）研修を実施しました。
 - ④外部機関が開催する輸送の安全に関する研修へ参加し、輸送の安全に関する知識の習得、運転技術の向上を図りました。（安全運転中央研修所、運行管理者一般講習、運行管理者基礎講習、整備管理者選任前研修、運輸局・バス協会主催による安全セミナー）

- (4) 健康起因による事故防止への取組として、脳ドック、胸部ＣＴ検査、ＳＡＳスクリーニング検査、眼底検査の受診を全運転士に対し展開しています。

□令和７年度の取り組み

1. 令和７年度 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 輸送の安全の確保が事業経営の根幹であり、最優先します。
- (2) 安全輸送に関する関係法令を遵守し、全従業員に徹底します。
- (3) ＰＤＣＡサイクルを継続し、絶えず輸送の安全性の向上に努めます

2. 令和７年度 輸送の安全に関する目標

- ①「重大事故 0 件」 ※自動車事故報告規則第 2 条に規定する事故
- ②「有責事故件数前年比 75%」

3. 輸送の安全のための重点措置

- (1) 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守します。
- (2) 輸送の安全に関する費用、支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めます。
- (3) 輸送の安全に関する内部監査を１年に１回以上実施し、必要な是正措置又は予防措置を講じます。
- (4) 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有します。
- (5) 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを適確に実施します。

4. 輸送の安全に関する計画

- (1) 会議
 - ・ 輸送の安全に関する全体会議（月 1 回）
 - ・ 運行管理部門と実務責任者による運行会議（月 2 回）
- (2) 教育・研修
 - ・ 国土交通省の指導監督指針に沿った安全運転研修
 - ・ ドライブレコーダー映像を活用した事故対策研修
 - ・ 初任運転者に対する安全運転の実技指導（別表 PDF）
 - ・ 山岳道路走行研修
 - ・ 事故・非常時対策訓練
 - ・ 雪道走行・タイヤチェーン脱着研修
 - ・ 救急救命（ＡＥＤ）研修

(3) 事故防止交通安全運動

- ・ 春の全国交通安全運動
- ・ 秋の全国交通安全運動
- ・ 年末年始の安全総点検
- ・ 無事故特別強化運動（無事故安全キャンペーン）

(4) 健康管理体制の強化

- ・ 弊社雇用看護師を中心とした健康管理の徹底推進
- ・ 脳ドック・胸部ＣＴ検査（心臓・大血管疾患対策：３年に１回）
※55 歳以上の新人運転士入社時健康診断で脳ドック・胸部ＣＴを受診
- ・ SAS 簡易検査、眼底検査を全運転士に実施
- ・ 定期健康診断（年２回）
※二次受診へのフォロー徹底（一部会社負担）
- ・ 熱中症対策強化
- ・ インフルエンザ予防接種の推進（一部費用補助）
- ・ ストレスチェックの実施（年１回）

5. 輸送の安全に関する投資計画

○安全装備費用…145,380 千円

ＰＣＳ搭載車両（２両）、ＡＳＶ装置搭載高速乗合車両リース料（９両）、高性能検知データ保存機能付アルコール検知器更新、眠気検知機器・通信型デジタルタコグラフ・リアルタイムドライブレコーダー通信費、リアルタイム道路交通情報システム通信費

○健康管理費用…3,250 千円

定期健康診断（眼底検査追加）、脳ドック・胸部ＣＴ検査、インフルエンザ予防接種、ストレスチェック、熱中症対策

○安全教育等費用…5,260 千円

山岳道路・雪道安全運転研修、自動車安全運転外部研修、安全教育用ＰＣ更新
適性診断、運転記録証明書、車両乗務員管理システム、乗務員教育 e ラーニング

合計…153,890 千円

6. 輸送の安全に関する内部監査の結果

岡崎営業所副所長２名に対し、輸送の安全に関する取り組みへの内部監査を実施しました。運行現場への法令周知、初任・高齢者・事故惹起者への教育、乗務員全体に対する指導監督の実施記録を確認し、適切に行われていることを確認しました。

7. 行政処分の公表

弊社は、令和６年度に行政処分を受けていません。

8. 輸送の安全に係る組織体制及び緊急連絡体制

- 輸送の安全に関する組織体制（別表 PDF）
- 事故・災害発生時緊急連絡体制（別表 PDF）

9. 安全統括管理者および安全管理規程

- 安全統括管理者…廣 慎一郎（専務取締役）
- 安全管理規程（別表 PDF）

以上